

# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科 ) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションビジネス	ファッション業界における基礎知識 (FBの変遷、産業構造、流通の仕組み等) の十分な理解を目標とする。 また、各ジャンルでのトピックスを盛り込みながら、変化の激しいファッション業界に対応するための思考力を養う。 企業コラボレーションではテーマに沿った企画立案をし、プレゼンテーションを通し企画力・発信力を向上する。	1・通年	90	3	△	○		○		○		
○			ビジネスコラボレーション演習	テーマに沿った企画立案をし、プレゼンテーションを通し企画力・発信力を向上する。 また、各ジャンルでのトピックスを盛り込みながら、変化の激しいファッション業界に対応するための思考力を養う。	1・通年	30	1		△	○	○		○		
○			アパレル商品知識	●商品のアイテム名、ディテール、商品の計測などの基本を学び、市場調査、アイテム分析、アイテム研究につなげる ●店頭・オンラインでの販売、その他の職種で応用できるよう、各アイテムに分けて店頭での商品の見方や情報収集の基本を学び、まとめる力をつける	1・通年	120	4	△	○		○		○		
○			アパレル商品構成	●流通全般に必要なアパレル商品の基礎となる服の構造、仕様を実物制作をとおして理解させる。 (制作物：スカート・パンツ・シャツブラウス・アップサイクル) ●制作した作品を使い、コーディネートを組み発表をする。	1・通年	210	7			○	○		○		

# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科 ) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションコーディネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネート提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	1・通年	90	3		○		○		○		
○			マーケティングリサーチ	・ ショップや街などの調査を通してリサーチ力を身につけさせるとともに、「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を修得させる。 ・ ファッション産業の構造を理解し、業態別にリサーチを行い、それぞれの特徴を理解する。 ・ 目的に合わせたリサーチを実践し、得られた情報を分析し、自分のキャリアに結びつけることを目指す。	1・通年	60	2		○		○		○		
○			ファッション色彩	ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心に行いながら習得する。ファッション色彩能力検定3級に対応。テキストの内容に沿った講義や実習プリントの学習を通し、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッションカラーコーディネーションのセオリーなどを理解し、ファッションの現場で活用できる能力を身につける。	1・通年	60	2		○		○			○	○
○			アパレル素材論	アパレル製品の主な素材である布地とそれを構成する繊維、糸、またそれらの整理、仕上げ、染色加工等に関する基礎知識について、「講義」「実習」を通して学習する。さらに、テキスタイル及びアパレル業界のつながりや現状とも関連付けられるようにする。	1・通年	60	2		○		○			○	

# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科 ) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ファッション史	古代から現代まで西洋服飾の変遷を歴史的背景、文化的背景と結びつけながら解説します。 各時代の美術や建築などの様式美と共に服飾の特徴を学び、現代ファッションとの関連性にも注目しながら理解を深め、その知識をファッション業界で活かすことを目標とします。	1・通年	60	2	○			○			○	
○			ファッションデザイン画	現在のアパレル業界で流通している基本的なファッションアイテムを中心に衣服を明確に描く技術を学習する。 マーカーを使用した素材表現を習得し、ファッションデザイン画の表現力を養う。	1・前期	30	1			○	○		○		
○			コンピュータワーク	オフィス系及びグラフィック系のソフトの基本操作を学びながら、目的・用途に応じた使い分けを可能にし、表現方法に広がりを持たせることを目標とする。 ・グラフィック系ソフト:Adobe Illustrator / Photoshop ・オフィスソフト:Microsoft Excel / PowerPoint	1・通年	60	2			○	○		○		
		○	自由選択 (語学) ファッション英会話 (初級)	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増すこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択 (語学) ファッション英会話 (中級)		1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択 (語学) ファッション英会話 (上級)		1・後期	30	1		○		○		○		

# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科 ) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択 (語学) TOEIC	TOEICテストでの600～700点程度の取得。 またスコアに見合うだけの英語力を身につける。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択 (語学) 中国語	・ 中国語学習意欲の喚起と勉強方法の習得 ・ インバウンド向けに簡単な接客ができる言葉、文型の習得 ・ 基本的なファッション用語、中華圏のファッションビジネスやマーケティング知識の紹介	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由研究	1：映画からのスタイリング研究 ⇒映画のファッションからコーディネート を分析し、オリジナルのスタイリング を提案しファッション業界としての意識 の向上をはかる 2：アパレル製品の広告研究 ⇒昨今のアパレル製品における売上ア ップのメイン課題となっている広告につ いての意識の向上をはかる 3ファッション流通科1年、授業で学んだ 学習を基礎とし専門職業人を目指すもの としての意識の向上をはかる (進級コースや将来の職業選択、キャ リア形成のための自己学習)	1・後期	60	2			○	○		○		
		○	企業研修	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。 企業内の実習、見学、講義などを通して接客による消費者ニーズの把握、商品企画、仕入れ、売り場構成、商品構成、販売促進などの仕組みの把握、商品の取り扱い方、在庫管理の方法、社会人のマナー、接客におけるマナー、実務の体験、研修企業先の業態、基本方針などの概要把握を理解し体得する。	1・後期	90	3			○	○		○		

# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科 ) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリア開発	・就職活動の流れや活動するための必要な知識を得る。 ・自己分析、企業研究など、就職活動に向けた準備と心構えを行う。	1・通年	30	1		○		○			○	
○			特別講義Ⅰ	レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後に役立つ知識を習得する。 ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1・通年	60	2	○			○			○	
合計			14科目			1,020単位時間（34単位）									
(ファッション流通専門課程 ファッション流通科 2年次 スタイリストコース) 2024年度															
1	○		スタイリストワークa	スタイリスト・スタイリストアシスタントの仕事の役割を理解させる。 スタイリストの現場において、即戦力となる実務・知識・技術の習得を目指す。	2・通年	90	3		○	△	○			○	
2	○		スタイリストワークb	スタイリスト・スタイリストアシスタントの仕事の役割を理解させるスタイリストの現場において、即戦力となる実務・知識・技術の習得を目指す。	2・後期	30	1		○	△	○			○	○
3	○		スタイリングフォト	スタイリング表現に必要なカメラ撮影の基礎知識として、スタジオ撮影、ロケ撮影などの撮影方法の違いを理解し、それぞれの表現技術を習得する。スタイリストワークの授業と連動した撮影実習を通して表現の幅を広げていく。	2・通年	60	2			○	○			○	

# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科 ) 2024年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
4	○			リメイク演習	既成商品を新しい発想とデザインで、再構築させてオリジナル作品の制作を行う。 制作を基にリメイクウェアのデザイン、パターン、素材、テクニック、着こなしについて理解させる。	2・前期	60	2		○	△	○		○		
5	○			アパレル造形演習	異素材を2種類以上縫い合わせたアパレル制作を行う。 作品制作を通じ、アパレル造形の一般知識、技術、素材の特徴と扱い、着こなしについて理解させる。	2・後期	90	3		○	△	○		○		
6	○			アパレル商品論	スタイリストになるために必要なアパレル商品知識を身に付けることを目標とする。 1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの服の構造やディテールの名称などの知識をより深く理解し、現場で使える商品知識の習得が目標。またスタイリング知識の測定試験やフォーマルスペシャリスト検定準2級の対策、必須受験、合格も目標とする。	2・通年	60	2	○	△		○		○		
7	○			アクセサリ論・演習	ファッションコーディネートに必要なファッショングッズの専門知識と技術を学ぶ。 作品製作を通しアクセサリと衣服のコーディネーション力・バランス感覚を身につける。	2・通年	30	1	△	○		○			○	
8	○			ファッションスタイリング	ファッションスタイリングの基本的な知識と技術を習得する。時代への適応力客観的に捉えたファッションスタイリングの提案能力を養う。素材や柄、アクセサリ、シルエット、体型カバーなどに視点を置きファッションスタイリングのテクニックの講義を主体にし、スタイリング実習 プレゼンテーションを行う。	2・通年	60	2		○	△	○		○		
9	○			ヘア・メイク	スタイリストとして、さまざまなヘア・メーキャップの技術と知識を学び、スタイリング提案をより理解しやすくし、自己表現の可能性を広げる。 美意識・美的センスを養う。	2・通年	60	2		○	△	○		○		

# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科 ) 2024年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
10	○			パーソナルカラー	1年次の色彩学や配色理論をもとに、ファッション業界の現場で活用する「似合う色」の習得を目指す。外見の色素による理論的なアプローチ方法を学び、似合う色を見分ける色感を身につけ、スタイリングスキルの応用力向上を図る。(＊パーソナルカラー検定3級・2級の内容を含む。全員受験。)	2・後期	30	1		○		○			○	○
11	○			ディレクションワーク	スタイリング表現をするにあたり、その目的をしっかりと捉え明確にすること、また目的実現のためには、何をするべきなのかをきちんと組み立てる、他人と共有するその方法を学ぶ。	2・前期	30	1		○		○			○	○
12	○			フォト概論	撮影現場でスタイリストとして必要な写真の知識を、ポートレート講義、ファッション写真史など通じて学び、役立てていく。また授業の後半に写真集を制作、発表し、プレゼンテーション力、発想力を養う。	2・通年	30	1	○	△		○			○	
13	○			染色・加工演習	アパレルデザインを行う上 重要である素材の染色加工に関する専門知識を養う。理論・技法・工程など実技を通し習得する。時代に沿った 各種表現方法を分析し構成する。	2・前期	30	1		○		○			○	
14	○			メディア表現	1年次に習ったデザインソフトの復習、応用スキルの向上。実際にアパレル業界、デザイン業界で使われるデザインに関する基本知識を学ぶ。卒業後に自分たちの進みたい道で活かせる指示書や、資料の作成スキルを身につける。	2・通年	30	1			○	○			○	
15			○	自由選択ニット	ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得しニットの可能性を広げる。	2・前期	30	1			○	○		○		
16			○	自由選択ソーイングa	各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
17			○	自由選択ソーイングb		2・前期	30	1			○	○		○		

# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科 ) 2024年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
18			○	自由選択 帽子	布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。 発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリーコーディネートを行う。	2・前期	30	1			○	○		○		
19			○	自由選択 映画から見る ファッション	ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標:映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化(=レポート提出)することを目指す。	2・前期	30	1		○		○			○	
20			○	自由選択 パソコンスキルa	通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法和現場向きのデザイン方法を学ぶ。	2・前期	30	1			○	○			○	
21			○	自由選択 パソコンスキルb		2・前期	30	1			○	○				○
22	○			特別講義Ⅱ	スタイリストや関連職種で活躍されている方々の講義や校外授業を通じて、幅広く業界の知識を深める。	2・通年	60	2	○			○			○	
23	○			校外研修Ⅱ	研修旅行(企業見学(KCIギャラリー・ワコールミュージア)グループ散策(神社、仏閣、庭園の鑑賞))、文化体験を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1			○		○	○		



# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科 ) 2024年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
24	○			インターン シップ <sup>a</sup>	実際の現場での実習や見学を通して、スタイ リスト業務の種類とその特徴、仕事の手順な どを理解し、現場に即したコミュニケーションス キルやビジネスマナーを習得します。	2 ・ 後 期	30	1			○		○		○	
25			○	インターン シップ <sup>b</sup>		2 ・ 後 期	30	1			○		○		○	
26			○	インターン シップ <sup>c</sup>		2 ・ 後 期	60	2			○		○		○	
27			○	インターン シップ <sup>d</sup>		2 ・ 後 期	90	3			○		○		○	
28			○	インターン シップ <sup>e</sup>		2 ・ 後 期	120	4			○		○		○	
29			○	コラボレー ション	外部講師や企業とのコラボレーション活動に個人又はグループで参加し、企業や アーティストとの共同制作・実務体験を する中で知識や技術を身につける。	2 ・ 後 期	30	1			○		○		○	
30	○			イベント実習 <sup>a</sup>	リメイク演習と連動し、新入生を歓迎するイベントの立案・実施をする。 リサーチ、コーディネート、編集等グ ループにて実習を行い、コミュニケー ション能力を養う。	2 ・ 前 期	30	1			○	○		○		
31			○	イベント実習 <sup>b</sup>	自由選択で行うイベント実習。イベント 実習の集大成として、ファッション ショーを各パートに分かれて活動する。 ファッションイベント制作で、個々の知 識と技術を結集、またコミュニケーション 能力も養う。	2 ・ 後 期	60	2			○	○		○		
32			○	イベント実習 <sup>c</sup>		2 ・ 後 期	30	1			○	○		○		

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科 ) 2024年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
33	○			卒業制作	スタイリストコースの最終課題に相応しいテーマを各自が設定し、ディレクション・スタイリング・撮影・メディア加工・媒体制作をし、プレゼンテーション、展示形式で発表をする。	2・後期	120	4			○	○		○		
34	学年合計			19科目		960単位時間（32単位）										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 最終学年の修了、卒業必須単位数の取得		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること		1 学期の授業期間	15 週

- (留意事項)
- 1

一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、
- 2

企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要																
(ファッション流通専門課程 ファッション流通科2年次 ショップスタイリストコース) 2024年度																
分類				授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	講 義						演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
1	○			接客対応スキルA	時代に合わせ、対面接客・オンライン接客、 双方の接客対応スキル習得を目指す。 対面接客・オンライン接客の価値や満足度を お客様視点で考え、実践に繋げていく。 SOC(首尾一貫感覚)の高い人財を育成する	2・ 前期	120	4		○		○		○		
2	○			接客対応スキルB		2・ 後期	90	3		○		○		○		
3	○			オンライン接客 対応スキル	時代に合わせ、対面接客・オンライン接客、 双方の接客対応スキル習得を目指す。 対面接客・オンライン接客の価値や満足度を お客様視点で考え、実践に繋げていく。 SOC(首尾一貫感覚)の高い人財を育成する。	2・ 通年	60	2		○		○		○		
4	○			接客実務	株式会社ビームスで行っている講義と実践で 学ぶことで、将来のショップスタイリストに なるための意識づけとファッション業界で働 くための即戦力となる人材を育成する。	2・ 前期	30	1		○		○			○	○
5	○			アパレル商品 論	ファッションアドバイザーになるために必要な アパレル商品知識を身に付けることを目標と する。 1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイ テムの服の構造やディテールの名称などの 知識をより深い理解と習得をする。また接客 技能検定3級やフォーマルスペシャリスト検 定準2級の対策をし、合格を目標とする。	2・ 通年	90	3		○		○		○		

6	○			セールスコー ディネート	①セールストークに求められるコーディネートの基本的な知識と技術を理論と実践を通して学ぶ。 ②客観的な視点に立ったコーディネートが組める。 ③コーディネートを論理的に捉えることで感性の理論化を目指す。	2・ 通年	60	2	△	○		○			○	
7	○			ビジュアル マーチャンダ イジング	ショップにおけるVMD政策の目的・効果を演習を通して学ぶ。 前期:VMD制作をフェアを行う設定で資料の制作を行う 後期:ショーイングの基本テクニックを学ぶ	2・ 通年	30	1		○		○				○
8	○			売場計数	ショップスタッフとして必要となるショップ計数についての基本的な知識の修得を目標とする。 店メンバーとコミュニケーションを取る上で必要となる計数用語を理解し、計算演習を通して日々の計数管理業務が最低限できるようになることを目指す。	2・ 後期	30	1	○	△		○			○	
9	○			ファッション マーケティング	ファッション業界におけるマーケティングの基礎知識や重要性を理解する。 また、ショップスタイリストの視点から最適な売り場やサービスを提案・実践できる力を習得する。	2・ 前期	30	1		○		○			○	
10	○			アパレル商品 演習	アパレルの一部であるファッション小物の売れ筋の商品をリサーチし、企画、制作を学ぶ。 異素材を使用したアパレル制作を通して素材の特徴と扱い、パターン、縫い方のテクニック、着こなしについて理解させる。完成後プレゼンテーション形式の発表会しショップスタイリストのスキルアップを目指す。	2・ 通年	90	3		○		○			○	
11	○			アパレル品質 論	テキスタイルやアパレルの企画、製造、販売における品質管理に関する知識を習得し、「関連する法律を遵守する」「お客様の要求品質を満たす」ための活動ができることを目標とする。講義と演習により理解を深める。	2・ 後期	30	1	△	○		○			○	
12	○			パーソナルメ イク	ショップスタイリストとして、さまざまなメイクアップの技術と知識を学び、トータルコーディネート提案の幅を広げる。 美意識・美的センスを養う。	2・ 前期	30	1		○		○			○	

13	○			パーソナルカラー	1年次の色彩理論・配色作品作りをもとに、ファッション業界の現場、特に販売接客面での「似合う色」の活用を目標に、色を理論的、具体的にアドバイスするビジネススキルを習得する。 * パーソナルカラー検定3級・2級に基づく内容	2・前期	30	1		○	○			○	○
14			○	自由選択ニット	ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得しニットの可能性を広げる。	2・前期	30	1		○	○			○	
15			○	自由選択ソーイングa	各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム（つけ衿・リメイク）を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。	2・前期	30	1		○	○			○	
16			○	自由選択ソーイングb		2・前期	30	1		○	○			○	
17			○	自由選択帽子	布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。 発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリーコーディネートを行う。	2・前期	30	1		○	○			○	
18			○	自由選択映画から見るファッション	ファッションを伝えるメディア（媒体）の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代（1910-60年代）と「ニュー・シネマ」以降（1960年代後半-現在）と大きく二つに分け、①映画の技術の発展（サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど）と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標：映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化（＝レポート提出）することを目標とする。	2・前期	30	1		○	○			○	
19			○	自由選択パソコンスキルa	通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法和現場向きのデザイン方法を学ぶ。	2・前期	30	1		○	○			○	
20			○	自由選択パソコンスキルb		2・前期	30	1		○	○			○	
21	○			特別講義Ⅱ	ファッション業界の現状を講義を通して学び、モノづくりから「価値と価格のバランス」を考える。 さらに、サービスの現状を現地へ出向き体感する。	2・通年	60	2	○		○			○	

22	○		校外研修Ⅱ	研修旅行を通じ、真のおもてなしとは何かを体験を通して学ぶ。	2・前期	30	1			○		○	○		
23		○	インターンシップ <sup>a</sup>	現場に身を置き、実務を経験することで、就職前に実社会を体感し、卒業後の「働く」という意識をより高める効果を狙う。	2・後期	30	1			○		○		○	
24		○	インターンシップ <sup>b</sup>		2・後期	60	2			○		○		○	
25	○		イベント実習 <sup>a</sup>	・コースの特徴を打ち出すイベントを企画する ・チームビルディングの実践 ・「おもてなし」を体現する	2・前期	30	1			○	○		○		
26		○	イベント実習 <sup>b</sup>	自由選択で行うイベント実習。イベント実習の集大成として、ファッションショーを各パートに分かれて活動する。ファッションイベント制作で、個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力も養う。	2・後期	60	2			○	○		○		
27		○	イベント実習 <sup>c</sup>		2・後期	30	1			○	○		○		
28	○		卒業制作	1年間の学びの集大成として、卒業後ショップスタイリストとして働く際のひとつのルールブックとして活用できるレポートを作成し、体得した接客スキルをロールプレイング大会として発表する。	2・後期	120	4			○	○		○		
29	合計			17科目	960単位時間（32単位）										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 最終学年の修了、卒業必須単位数の取得		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価を受け修了すること		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科2年次 リテールプランニングコース) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			リテールマーチャンダイジングA	カリキュラムの主軸であるRE・TENT運営から、学生オリジナルショップの計画から出店までを実務を通して学び、リテールマーチャンダイジングに必要な知識を得ることを目指す。 (客層/商圈立地、商品構成、店舗コンセプト/店舗面積/店舗イメージ、販売サービス/販促、店舗売上高など)	2・前期	90	3		○	△	○		○		
○			リテールマーチャンダイジングB		2・後期	120	4		○	△	○		○		
○			リテールマーチャンダイジング計数	・アパレル小売業の多くが現在使用している計数に関する基礎知識の修得を目標とする。 ・計数用語の解説と計算式の理解および演習。実際に店舗で使用している計画書や報告書などの書類の紹介と実習。 ・本コースが行う文化祭に向けてのリアルショップおよびオンラインショップにおける計数管理。	2・通年	90	3		○		○		○		
○			ビジュアルマーチャンダイジング	五感に訴える売り場づくりの戦略であるVMDの基礎知識と基本テクニックを習得する。文化祭のショップ「RE・TENT」で実践すると共に、「実店舗におけるVMD計画」を企画することで、就職活動や実社会でも活用できるようにする。	2・通年	60	2		○		○			○	
○			販売実務	販売員としてのマナー、サービスマインド、基礎知識を修得 RE・TENT における店舗運営に必要なチームづくりや接客スキルを学ぶ	2・通年	60	2	△	○		○		○		

○			コーディネートテクニック	コーディネートを理論的にとらえ、客観的な視点に立ったファッションコーディネート提案能力を養う。 1つのアイテムを複数のコーディネートで魅力的に提案できるよう、様々なコーディネートテクニックを学ぶ。	2・後期	30	1	△	○		○		○					
○			セールスプロモーション	社会で通用する専門用語とコミュニケーションを駆使した実習型のカリキュラムにて構成（生徒の業界に対する興味関心事も状況に応じて組み込み。）アパレル企業の初年度程度と同等レベルで体験を行う。	2・通年	30	1		○		○					○		○
○			アパレル商品論	ファッションアドバイザーやバイヤー、企業を目指すために必要なアパレル商品知識を身に付けることを目標とする。 1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの服の構造やディテールの名称をより深く、リメイクや部分縫いなど講義だけでなく実技演習からお直しなどに必要な知識を習得する。	2・通年	60	2	○	△		○			○				
○			ECビジネス	リテント活動と連動し、各ブランドの製品をBASE(ネットショップ)を通じて販売する。その準備⇒ページ制作⇒販売⇒検証と一連を通じて、ECビジネスの基礎を体験し、以後の活動に活かす。レベルは初級～中級で、他科目で学習した内容も活用して、自らECビジネスを始められるレベルを目指す。	2・後期	30	1		○	△	○					○		○
○			商品企画演習	実践型カリキュラムとして取り組んでいる文化祭特設テントにおいて必要なオリジナル商品企画について学ぶ。 商品企画、生産、加工、品質管理など、さまざまな演習を通して実際の商品企画に役立てる。	2・前期	30	1		○	△	○			○				
○			ビジネス論	グループワークやケーススタディなどを通じて、リテールにおける最新の情報をキャッチアップしつつ、ビジネスとして俯瞰で捉えられる力を身につける。	2・前期	30	1	△	○		○					○		○
○			パーソナルカラー	1年次の色彩学や配色理論をもとに、ファッション業界の現場でビジネススキルとして活用する「似合う色」の習得を目指す。色による「自分ブランディング提案」や「ブランドプロデュース計画」の他、RE・TENTにもいかせる色彩計画について学ぶ。（＊パーソナルカラー検定3級・級を受験できる内容）	2・前期	30	1		○		○					○		○



○			メディアワーク	1年次に習ったデザインソフトの復習、応用スキルの向上。 実際にアパレル業界、デザイン業界で使われるデザインに関する基本知識を学ぶ。 卒業後に自分たちの進みたい道で活かせる指示書や、資料の作成スキルを身につける。	2・通年	60	2				○	○			○	
		○	自由選択ニット	ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得しニットの可能性を広げる。	2・前期	30	1				○	○			○	
		○	自由選択ソーイングa	各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム（つけ衿・リメイク）を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。	2・前期	30	1				○	○			○	
		○	自由選択ソーイングb		2・前期	30	1				○	○			○	
		○	自由選択帽子	布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。 発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリーコーディネートを行う。	2・前期	30	1				○	○			○	
		○	自由選択映画から見るファッション	ファッションを伝えるメディア（媒体）の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代（1910-60年代）と「ニュー・シネマ」以降（1960年代後半-現在）と大きく二つに分け、①映画の技術の発展（サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど）と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標：映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化（＝レポート提出）することを目指す。	2・前期	30	1			○		○			○	
		○	自由選択パソコンスキルa	通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法と現場向きのデザイン方法を学ぶ。	2・前期	30	1				○	○			○	
		○	自由選択パソコンスキルb		2・前期	30	1				○	○			○	

○		特別講義Ⅱ	・リテールマーチャндаイジングに必要な専門知識の理解を深める。 ・リテールプランニングに関連する業界・業種の視野を広げ、自身の企画に活かす。	2・通年	60	2	○			○			○	
○		校外研修Ⅱ	研修旅行における企業見学(カイハラ株式会社、トーホー株式会社ほか)を通し、産業の現場を幅広く理解させる。	2・前期	30	1			○		○	○		
	○	インターンシップ <sup>a</sup>	将来のキャリアを視野に入れ、産業界の現状を理解し、実務の経験を積むことを目的とする。	2・通年	30	1			○		○		○	
	○	インターンシップ <sup>b</sup>		2・通年	60	2			○		○		○	
○		イベント実習 <sup>a</sup>	・コースの特徴を打ち出すイベントを企画、実施する ・RE-TENTの報告会を行い、各チームの企画内容を公開発表する ・RE-TENTに関わる展示を行う	2・前期	30	1			○	○		○		
	○	イベント実習 <sup>b</sup>	自由選択で行うイベント実習。イベント実習の集大成として、ファッションショーを各パートに分かれて活動する。ファッションイベント制作で、個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力も養う。	2・後期	60	2			○	○		○		
	○	イベント実習 <sup>c</sup>		2・後期	30	1			○	○		○		
○		卒業制作	実践型カリキュラムとして取り組んでいる「RE・TENT」での経験を生かして、「新しいビジネスモデル」という視点で個人企画を行う。またプレゼンテーションと展示を実施する。	4・後期	120	4			○	○		○		
合計			17科目	960単位時間 (32単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：最終学年の修了、卒業必須単位数の取得		1 学年の学期区分	2 期
履修方法：単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること		1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程 ファッション流通科2年次 ファッションプロモーションコース) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ファッションプロモーション	ファッションプロモーションに必要な要素を知り、その学びを深めるために各自のテーマに基づいたオウンドメディアの制作を実践する。 その実践を通して、世界中のプロモーションツールに興味を持ち、その特徴を的確に捉えられるようになることを目標とする。	2・通年	240	8		○		○			
2	○			ムービーワーク	主にPremiereを使用して、編集の基本を学ぶ。画コンテについても学び、編集の視点から企画、撮影を行う。 また、Illustrator、Photoshopとも連携してタイトルワークを学び、After effectsやBlenderの基本も学ぶ。 最終的にはメディアに納品できる形式の書き出しまで学び、Youtubeへの限定公開を行い、一人でムービーのフィニッシュを行えることを目的とする。	2・通年	60	2			○	○			○
3	○			グラフィックデザイン	1年次に習ったデザインソフトの復習、応用スキルの向上。 実際にアパレル業界、デザイン業界で使われるデザインに関する基本知識を学ぶ。 卒業後に自分たちの進みたい道で活かせる指示書や、資料の作成スキルを身につける。	2・通年	60	2			○	○			○
4	○			エディトリアルワーク	現在のファッションビジネスにおけるあらゆるコミュニケーション設計において、最も必要とされるスキル「編集力」を実践的に身につける。表現に必要な、エディトリアル(ライティング含む)・ビジュアルディレクション・アートディレクション・ウェブディレクションの4つのスキルを中心にエディトリアルワークを総合的に学ぶ。	2・通年	60	2			○	○			○ ○
5	○			ファッションマーケティング論	ファッションをベースにしたマーケティングの基礎をプロの経営者から学ぶ。ファッションビジネスアワードへのコンペディション提出に向けた「Z世代に向けた新しいファッションビジネスの創出」をテーマに目的、現状分析、企画、経費などの企画提案のまとめなどを学び、最後にプレゼンテーションで発表する。	2・前期	30	1	△	○		○			○ ○

6	○			デジタルマーケティング	ブランドの基本的な価値設計の構造とその価値の伝え方を学び、マーケティングにおけるブランド構築の基礎について学ぶ	2・後期	30	1		○		○			○	○
7	○			メディア活用論	様々なメディアの種類と特性を知る。さらにメディアに流れるコンテンツとしての広告、クリエイティブ、プロモーション、マーケティングに関する最低限必要な基礎知識などの習得を目指す。プレス、広報、販売促進業務において実務として求められる「コンテンツ企画」と「メディア設計」のベースを考えられるレベルとなることを最終目標とする。	2・通年	60	2	△	○		○			○	○
8	○			プロモーション演習	外部企業とのコラボレーションを通し、クライアントの要望(目的・ターゲット・シーズンなど)に合ったプロモーション手法を習得する。コンペティション形式でプレゼンテーションをし、自身の企画・アイデアをクライアントや消費者に伝えるスキルを向上させる。企業からフィードバック(講評)をもらい、今後のプロモーション活動へつなげる。	2・後期	30	1		○		○		○		
9	○			プロモーションフォト	カメラや写真の基礎知識やスキルはもちろんのこと、プレスや編集者、EC担当といった様々な職種での撮影機会に合わせた立ち回りなど、それぞれの視点で写真との接点を体験し、今後社会に出たときに一歩リードできるような学生を育成します。写真が上手くなるコツは反復練習あるのみですので、全ての時間でカメラに触れるような実習中心の授業を予定しています。	2・通年	60	2		△	○	○			○	○
10	○			ファッション商品知識	アパレル企業での業務に必要な商品知識を身に付けることを目標とする。1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの服の構造やディテールの名称をより深く講義を中心に必要な知識を習得する。	2・通年	30	1	○	△		○		○		
11	○			ファッション情報	・ファッション入手方法について学び、ファッション情報を活用する事の重要性を理解する。 また、分析した情報をプレゼンテーションや様々な表現を通し、「人に伝える」力を身につける。 ・場牽引ブランド・注目ショップの最新プロモーションや、インフルエンサー・人気モデルの動向に注目し、今後の市場への影響や予測分析をできる力を身につける	2・通年	30	1		○		○		○		

12	○			カラープランニング	様々なメディアにおけるコミュニケーションの中での色彩の役割を理解し、「伝える」ためのツールとして客観的な色彩の活用を目指す。使用色に意味をもたせ説明できることが目標。	2・前期	30	1		○		○				○	○
13	○			プロダクトデザイン	ノーコードツールSTUDIO10を使用したWebサイトの制作方法を学んでもらいます。基礎的な操作方法をマスターしてもらい、テンプレートをカスタマイズして自身のWebサイトを制作できる応用力を身につけてもらいます。	2・前期	30	1		○	△	○				○	
14	○			現代ファッション	現代のファッションビジネスのトレンド・事例などを、ケーススタディを通して学ぶ学んだケースを自分のキャリアプランや働き方の姿勢にどのように生かし、現代のファッション業界でどう活躍するかを主体的にイメージできることを到達目標とする	2・後期	30	1	△	○		○				○	○
15			○	自由選択ニット	ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得しニットの可能性を広げる。	2・前期	30	1			○	○			○		
16			○	自由選択ソーイング <sup>a</sup>	各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム（つけ衿・リメイク）を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。	2・前期	30	1			○	○			○		
17			○	自由選択ソーイング <sup>b</sup>		2・前期	30	1			○	○			○		
18			○	自由選択帽子	布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリーコーディネートを行う。	2・前期	30	1			○	○			○		

19				自由選択 映画から見る ファッション	ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標: 映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化(=レポート提出)することを目指す。	2・前期	30	1			○		○				○
20				自由選択 パソコンスキルa	通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法和現場向きのデザイン方法を学ぶ。	2・前期	30	1				○	○				○
21				自由選択 パソコンスキルb		2・前期	30	1				○	○				○
22	○			特別講義Ⅱ	ファッションプロモーションに必要な専門知識の理解を深める。 デジタル、プロモーション、デザインに関連する視野を広げ、自身の成長につなげる。	2・通年	60	2	○				○				○
23	○			校外研修Ⅱ	研修旅行における企業見学(株式会社ゴールドウィンほか)を通し、アパレル産業の現場を理解する。 また各種施設の見学を通して、日本の文化 国や国内デザインについての知見を深める。	2・前期	30	1				○		○	○		
24	○			イベント実習 a	ファッション流通科1年を歓迎するための企画を考え、実践する。活動を通してチームワークの重要性を意識させ、企画を実現するプロセスを学ぶ。また実践したものが相手にどのように評価されたかを確認する。	2・前期	30	1				○	○		○		
25			○	イベント実習 b	自由選択で行うイベント実習。イベント実習の集大成として、ファッションショーを各パートに分かれて活動する。 ファッションイベント制作で、個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力も養う。	2・後期	60	2				○	○		○		
26			○	イベント実習 c		2・後期	30	1				○	○		○		

27			○	インターン シップ <sup>a</sup>	現場でのインターンシップを通して、①業界の 現状を知ること、②自身のスキルアップにつ なげることを目標とする。	2・ 後期	30	1			○		○		○	
28			○	インターン シップ <sup>b</sup>		2・ 後期	60	2			○		○		○	
29			○	インターン シップ <sup>c</sup>		2・ 後期	90	3			○		○		○	
30	○			卒業制作	1年間の集大成として、オウンドメディアを活用したプロモーション施策を企画立案、具現化する。また、自身のこだわりが詰まったメディアコンテンツをZINEとリアル展示で表現する。企画から制作までのスケジュール管理や段取りも徹底して行う。	2・ 後期	120	4			○	○		○		
31	合計				18科目	1,020単位時間（34単位）										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 最終学年の修了、卒業必須単位数の取得		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

# 授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程　ファッション流通科2年次　ファッションモデルコース) 2024年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			プロポーション美学A	前期　自分の体形や第一印象を知ることから入り、自己分析を行う。そして表現力を身につけながら基本的なモデルウォーキングの動きを習得する。	2・前期	60	2			○	○			○	○
2	○			プロポーション美学B	後期　前期の基本を踏まえ、ポージングや話し方のテクニックを磨き自己表現力を身につける。	2・後期	60	2			○	○			○	○
3	○			化粧科学	健やかで美しい肌や髪の状態に関する基礎知識、正しいお手入れ法を学びます。	2・前期	30	1		○		○			○	
4	○			ヘア・メイク	ファッションモデルとして、様々なヘア・メーキャップの技術と知識を学び、自己表現の可能性を広げる。	2・通年	60	2		○	△	○		○		
5	○			コンディショニング	ヨガのアーサナ、呼吸法、瞑想を通し、自己の心と身体をありのままに気付き観察することで、内面からバランスを取り強くなやかな心と身体へ導く自己調整能力、集中力を養い、自身のコンディショニングに役立てる。	2・通年	60	2			○	○			○	
6	○			ダンス基礎・バレエ	モデルとして活躍する為には、高い身体感覚、身体意識を得て、磨き続けて行くことが必須となります。そのベースつくりのために解剖学、筋膜知識を取り入れながらのバレエメソッドを学びます。即興体験もします。	2・前期	30	1		○	△	○			○	
7	○			ダンス・演技	現代はモデルのタレント化・タレントのモデル化が進んでおり、モデルに必要なスキルは多岐に渡る。様々なオーディションではナレーション・演技・歌唱・ダンスが求められることもある。またSNSでの発信などセルフプロデュースも重要である。本授業ではモデルが求められる多様なスキルに対応すべく、また学生が自分の得意分野を見つけるきっかけとなるよう様々なアプローチをしていく。	2・通年	60	2		△	○	○			○	○



8	○			サーキットトレーニング	モデルとして活動する上で、自分の体型を管理することの大切さを理解し、そのために必要な知識、方法を学んでいく。NY生まれで海外のアーティストも取り入れているエクササイズ「ジャイロキネシス」および、ドイツで生まれ様々なスポーツの選手にも取り入れられている「アニマルフロー」を主に用いて、柔軟性と筋力の強化を図り、自分で必要なエクササイズメニューを組み立てられることを目標とする。	2・通年	30	1			○	○			○	○
9			○	自由選択 ファッション モデル演習a	ファッションモデルに特化した実習現場に参加し、モデルとしての経験を積む。	2・通年	30	1		○		○		○		
10			○	自由選択 ファッション モデル演習b		2・通年	60	2		○		○		○		
11	○			アパレル演習 A	幅広い商品知識の中からアパレル商品について、商品の分類、種類の名称、色の効果と素材の知識を理解する。 時代の流れに合わせ、サスティナブルを意識したりメイクウエアの制作を行う。	2・前期	60	2		○	△	○		○		
12	○			アパレル演習 B	ニューフォーマルウエアの制作を通して、フォーマルウエアに適した素材の扱い方、縫製テクニックを修識させる。 卒業研究・創作での撮影衣装とする。	2・後期	60	2		○	△	○		○		
13	○			トータルコーディネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネート提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目指す。	2・通年	60	2		○		○		○		
14	○			ファッション 情報	・ファッション入手方法について学び、ファッション情報を活用する事の重要性を理解する。また、分析した情報をプレゼンテーションや様々な表現を通し、「人に伝える」力を身につける。 ・場牽引ブランド・注目ショップの最新プロモーションや、インフルエンサー・人気モデルの動向に注目し、今後の市場への影響や予測分析をできる力を身につける。	2・通年	60	2	○	△		○		○		

15	○			デザイン文化史	実践演習が多いモデルコースのなかで、教育機関としての側面も満たすべく一歩引いて視野を広げるための授業を目指す。モデルに求められるスキルを非言語コミュニケーション＝広い意味でのデザインと捉え、身体表現以外の多様な伝達技術を学ぶ。具体的にはデザインの方法論入門、映画やカルチャーなどで積み重ねられてきた非言語コミュニケーションのあり方を紹介していく。	2・前期	30	1	△	○		○			○	○
16	○			フォトシューティング	写真を通してモデルとしてのクオリティーを知り、自己表現(ポージング)を最大限まで高める。 ＜トータルコーディネートBOOK作品やメディアワークでのコンポジット製作と連動＞	2・通年	60	2		△	○	○			○	
17	○			メディアワーク	1年次に得たIllustrator/Photoshopの基本知識をより実践的に使えるレベルへ引き上げる。他授業と連動しながら、魅力あるコンポジットを制作、効果のあるセルフプロモーションへと繋げる指導を行う。	2・通年	30	1			○	○		○		
18	○			パーソナルカラー	1年次の色彩理論・配色作品づくりをもとに、ファッション業界の現場における「似合う色」の活用を目標に、色を理論的かつ具体的にアドバイスできるビジネススキルを習得するとともに、パーソナルカラー検定2級取得を目指す。 *パーソナルカラー検定3級・2級に基づく内容	2・後期	30	1		○		○			○	○
19			○	自由選択ニット	ハンドニットの一般知識(素材・道具・編み地)と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得しニットの可能性を広げる。	2・前期	30	1			○	○		○		
20			○	自由選択ソーイングa	各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
21			○	自由選択ソーイングb		2・前期	30	1			○	○		○		
22			○	自由選択帽子	布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。 発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリーコーディネートを行う。	2・前期	30	1			○	○		○		

23			○	自由選択 映画から見る ファッション	ファッションを伝えるメディア(媒体)の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代(1910-60年代)と「ニュー・シネマ」以降(1960年代後半-現在)と大きく二つに分け、①映画の技術の発展(サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど)と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。 到達目標: 映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化(=レポート提出)することを目標とする。	2・前期	30	1		○		○			○	
24			○	自由選択 パソコンスキルa	通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法和現場向きのデザイン方法を学ぶ。	2・前期	30	1			○	○			○	
25			○	自由選択 パソコンスキルb		2・前期	30	1			○	○			○	
26	○			特別講義Ⅱ	時代への適応力を持ち合わせ、客観的にファッションモデルという仕事を捉えるべく、業界で活躍されている様々な先生方のお話を聴講し、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	2・通年	60	2	○			○			○	
27	○			校外研修Ⅱ	学外の研修及び研修旅行(京都)を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1			○		○	○		
28	○			イベント実習a	それぞれのコース目標に準じた企画立案、学生主体のイベント運営を通し、新入生歓迎動画制作とイベント実施日のインスタレーション企画。 今後の自分の進路や目標設定に役立てる。	2・前期	30	1			○	○		○		
29			○	イベント実習b	自由選択で行うイベント実習。イベント実習の集大成として、ファッションショーを各パートに分かれて活動する。ファッションイベント制作で、個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力も養う。	2・後期	60	2			○	○		○		
30			○	イベント実習c		2・後期	30	1			○	○		○		

31	○			卒業制作	2年間の学習の集大成として、学生個々での研究創作とした作品制作のシューティング（アパレル演習—フォーマルウェア・アクセサリ制作）及びセルフスタイリングのシューティング、データ作成（レタッチ）、動画制作、プレゼンテーション・ボード展示まで行う。	2・後期	120	4			○	○	○				
合計					20科目	1,020単位時間（34単位）											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：最終学年の修了、卒業必須単位数の取得	1 学年の学期区分	2 期
履修方法：単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価を受け修了すること	1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。